

3学期はじめの始業式は、テレビ放送で教室で行いました。今日は、体育館でみんなの顔を見ながらお話ができるので、とてもうれしいです。姿勢がいいかどうかも分かりません。とてもいい姿勢です。始業式の時に、校長先生はこんな話をしました。「3学期は、新しい学年の0学期」この3学期、皆さんは自分の目標やクラスの目標を達成しようと、どの子もいろいろなことにチャレンジしていました。

そしていよいよ今日は、1年の最後の日です。

先ほど、代表の5年生に修了証書とあゆみを渡しました。皆さんもこの後、教室で「あゆみ」を受け取ります。「あゆみ」は、皆さんの頑張ったところを、先生たちがよく見て作りました。自分の気付かないところも見つけてくれています。また、「ここを頑張るともっと成長するよ。」と励ましてくれています。

校長先生からは、皆さんがこれからもチャレンジする気持ちを大切に、さらに成長することを願って、校長先生が大好きなお話を紹介します。それは、「努力のつぼ」というお話です。では話しますね。

人が何かを始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時に、神様から、「努力のつぼ」をもらいます。そのつぼには、いろいろな大きさがあって、人によって大きいつぼ、小さいつぼがあります。そして、そのつぼは、その人には見えません。でも、その人がつぼの中に、一生懸命努力を入れていくと、それが少しずつたまって行って、いつか「努力」があふれた時、つぼの大きさが分かる、というのです。だから、休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ず、できる時が来るのです。

校長先生は、このお話が大好きです。「何度やってもできないよ、やめたいな。」と、くじけそうになる時がありますよね。そんな時には、心の中に、このつぼを思い描いてみてください。目には見えないけれど、皆さんのこれまでの努力は、しっかりとつぼの中にたまっていきます。もしかしたら、あふれそうになっているかもしれません。だから、あきらめずに続けていけば、いつかきっと努力があふれ出て、できるようになります。

今年1年、できるようになったこともあれば、できずに終わってしまったこともありますよね。あきらめずに、来年もぜひチャレンジしてみてください。

今日は、「努力のつぼ」というお話をしました。来年も、皆さんのチャレンジする姿を楽しみにしています。